



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社ランシステム

上場取引所

東

コード番号 3326

URL <https://www.runsystem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 日高 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 面高 英雄

TEL 045-594-6411

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日~2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,287	△31.3	19	△65.7	6	△86.2	4	△90.6
2026年3月期第1四半期	1,873	△4.5	57	393.0	46	493.0	47	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 4百万円(△90.6%) 2026年3月期第1四半期 47百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2027年3月期第1四半期	—	1.04	—	—
2026年3月期第1四半期	—	11.14	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円			円	銭
2027年3月期第1四半期	4,241		326		7.7	76.72	
2026年3月期	4,177		321		7.7	75.67	

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 326百万円 2026年3月期 321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年 3 月期	—				
2027年 3 月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	4,800	△11.6	180	3.5	130	21.9	110	8.1	25.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	4,380,900株	2026年3月期	4,380,900株
2027年3月期1Q	130,490株	2026年3月期	130,490株
2027年3月期1Q	4,250,410株	2026年3月期1Q	4,250,410株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇や不安定な国際情勢など、先行き不透明な状況が続いていますが、個人の消費回復やインバウンド需要の高まりによって経済環境は緩やかな回復基調が続いております。サービス業・アミューズメント業界においても、物価高や光熱費等のコスト上昇の影響はあるものの、人流回復に伴う緩やかな回復基調が継続しております。

このような経営環境のもと、当社グループは「基本の徹底」「コスト最適化」「チームの再構築・人財強化」に注力し、既存の主力事業であるエンターテインメント事業ではサービス業としての基本である「清掃・接客」を軸に、安心安全健全な運営を継続していくことに加え、顧客満足度向上のための店舗改装、お客様目線での店舗別サービス提供を現場スタッフ主導で進めているほか、システム事業におけるチームの再構築、人財強化を行い、新規取引先を拡大していくための新規商材開発・営業強化等に努めて参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,287百万円（前年同期比31.3%減）、営業利益19百万円（前年同期比65.7%減）、経常利益6百万円（前年同期比86.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円（前年同期比90.6%減）となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

<エンターテインメント事業>

当事業につきましては、当社及び当社子会社の株式会社ランセカンドによる複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」チェーン直営店舗の運営をメインとし、安心安全健全な運営を行っております。店内設備においては、お客様のニーズの高いコンテンツの積極的な導入を進めております。また、自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート業務、自遊空間店舗で利用している商材の外部への販売、店舗を利用した広告掲出、社員研修・スタッフ研修の外部への販売、バーチャル関連の新規事業開発を進めております。その他、完全セルフ型オンラインダーツ店舗「Smart Darts」の更なる出店や当社サポートセンターによる遠隔接客BPOを核とした新たな収益基盤の確立を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末時点では、グループ店舗数82店舗(直営店舗36、FC加盟店舗46)となり、当セグメント全体の売上高は737百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は36百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

<システム事業>

当事業につきましては、注目度の高いセルフ化システムやテレワーク環境を支援するシステムなどの各種システムの販売及び保守、管理業務を行っているほか、新しい商材の開発や新規顧客開拓も進めております。また、当社の親会社であるAOKIホールディングスのグループ会社が展開する店舗へのセルフ化システム、PC関連部材等の導入を進めております。その他、2027年3月期から「パートナー企業制度（SIPP）」を開始し、販売チャネルの拡充と相互成長が可能なチームづくりを進めております。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は528百万円（前年同期比52.4%減）、セグメント利益は27百万円（前年同期比60.9%減）となりました。

<不動産事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、おおむね計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当セグメント全体の売上高は21百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は9百万円（前年同期比28.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加しました。これは主に、売掛金が15百万円減少した一方、商品及び製品が41百万円、原材料及び貯蔵品が10百万円増加

したことなどによるものであります。

固定資産は2,591百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定が24百万円減少した一方、車両及び備品(純額)が23百万円、建物及び構築物(純額)が15百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は4,241百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,866百万円となり、前連結会計年度末に比べ114百万円増加しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が30百万円、賞与引当金が21百万円減少した一方、買掛金が132百万円、その他に含まれる未払金が12百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は2,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少しました。これは主に長期借入金40百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は3,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は326百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、7.7%(前連結会計年度末は7.7%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、今後の出店計画や店舗売上高に与える影響や開発中の新製品及びサービスの運用時期の変動などの不確定要因があるため、現時点においては前回予想通りとし、修正は行っておりません。なお、数値が確定した結果、適時開示基準に該当した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	881,259	879,666
売掛金	407,900	392,519
商品及び製品	186,865	228,829
原材料及び貯蔵品	13,451	24,334
その他	118,578	127,352
貸倒引当金	△4,221	△4,193
流動資産合計	1,603,834	1,648,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,179,136	1,194,213
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	110,778	134,066
リース資産（純額）	276,871	272,284
土地	364,014	364,014
建設仮勘定	32,912	8,712
有形固定資産合計	1,963,712	1,973,290
無形固定資産		
のれん	8,156	7,695
ソフトウェア	92,453	92,170
ソフトウェア仮勘定	14,668	25,542
無形固定資産合計	115,279	125,407
投資その他の資産		
長期貸付金	2,028	1,910
敷金	445,981	446,227
繰延税金資産	310	—
その他	57,910	58,305
貸倒引当金	△11,815	△11,815
投資その他の資産合計	494,415	494,628
固定資産合計	2,573,407	2,593,326
資産合計	4,177,242	4,241,834
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,879	369,267
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	191,040	161,040
リース債務	94,078	98,876
未払法人税等	7,223	1,825
賞与引当金	37,850	15,950
資産除去債務	1,500	—
その他	183,590	219,404
流動負債合計	1,752,161	1,866,363
固定負債		
長期借入金	1,393,959	1,353,699
リース債務	221,129	211,623
長期末払金	50,264	40,893
資産除去債務	302,900	309,097
繰延税金負債	14,674	14,571
その他	120,508	119,508
固定負債合計	2,103,435	2,049,394
負債合計	3,855,597	3,915,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	236,430	236,430
利益剰余金	77,841	82,273
自己株式	△92,627	△92,627
株主資本合計	321,645	326,076
純資産合計	321,645	326,076
負債純資産合計	4,177,242	4,241,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,873,129	1,287,518
売上原価	1,597,944	1,018,523
売上総利益	275,184	268,994
販売費及び一般管理費	217,708	249,271
営業利益	57,476	19,723
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	6
販売手数料収入	1,145	817
物品売却益	—	80
その他	297	1,673
営業外収益合計	1,453	2,578
営業外費用		
支払利息	10,887	15,835
その他	1,295	—
営業外費用合計	12,182	15,835
経常利益	46,747	6,465
特別利益		
固定資産売却益	—	—
その他	973	—
特別利益合計	973	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
店舗閉鎖損失	—	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	47,721	6,465
法人税、住民税及び事業税	1,839	1,826
法人税等調整額	△1,469	208
法人税等合計	370	2,034
四半期純利益	47,351	4,431
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,351	4,431

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	47,351	4,431
四半期包括利益	47,351	4,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,351	4,431
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エンターテイン メント事業	システム 事業	不動産 事業	計		
売上高						
施設利用収入	685,580	—	—	685,580	—	685,580
外販収入	56,102	1,110,341	—	1,166,444	—	1,166,444
賃料収入	—	—	—	—	—	—
顧客との契約 から生じる収益	741,683	1,110,341	—	1,852,025	—	1,852,025
その他の収益	—	—	21,103	21,103	—	21,103
外部顧客への 売上高	741,683	1,110,341	21,103	1,873,129	—	1,873,129
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,663	—	1,663	△1,663	—
計	741,683	1,112,005	21,103	1,874,792	△1,663	1,873,129
セグメント利益	50,646	69,883	13,096	133,626	△76,149	57,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△76,149千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エンターテイン メント事業	システム 事業	不動産 事業	計		
売上高						
施設利用収入	669,792	—	—	669,792	—	669,792
外販収入	68,057	528,604	—	596,662	—	596,662
賃料収入	—	—	—	—	—	—
顧客との契約 から生じる収益	737,849	528,604	—	1,266,454	—	1,266,454
その他の収益	—	—	21,064	21,064	—	21,064
外部顧客への 売上高	737,849	528,604	21,064	1,287,518	—	1,287,518
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	685	—	685	△685	—
計	737,849	529,290	21,064	1,288,204	△685	1,287,518
セグメント利益	36,477	27,306	9,371	73,155	△53,432	19,723

(注) 1. セグメント利益の調整額△53,432千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	56,901千円	69,665千円
のれんの償却額	—千円	461千円